

## 令和7年度事業計画

「笑顔のまち、住みよいまち、やまだ」というテーマのもと、令和7年度から始まる第3次山田まちづくり計画の初年度にあたることを踏まえ、あらためて「自分たちの地域は自分たちでつくる」という考えに基づき、「防災・防犯、安全環境、健康、青少年健全育成を含めた人材育成と学区内の様々な人々を繋ぐ絆づくり、組織の活性化」などの地域課題の具体的な解決・解消を目指して下記の重点事項を中心に取り組んでまいります

また、令和8年秋に移転を計画されている新山田まちづくりセンターに関しての移転準備と現センターのスムーズな引き渡しに向けて取り組みます。

### 【重点事項】

#### 《新まちづくりセンター開設準備委員会》

令和8年秋に予定されている新山田まちづくりセンターのオープンに向けての準備委員会を設置し、移転及びオープンに向けての準備を市関係部局と連携しながら新しく機能性に富んだ拠点作りに取り組めます。

具体的には、

- ① 現センターの移転に向けての事前準備
- ② 新センターの備品調達や竣工イベント企画
- ③ 積極的なセンター活用へ向けた仕組みづくり等

上記3つのテーマに基づいて検討し、新センターオープンに向けて準備を進めてまいります。

#### 《山田学区防災対策の充実》

草津市の当学区においては、日本の各地域と比較すると自然災害が少ないことから、「いざっ」という時の初動と学区全体の状況把握が大切となってくる。センターの移転に伴って、防災本部機能の充実と備蓄物品の充実をはかるべく準備を進める。また、不定期的に見直しをされてきた地区防災計画についても新たに新センター周辺に形成される新たな自治会を含めてのものとするよう更新を図る。

#### 《未来へ向けての人材育成と学区内の絆づくり》

小学生から大学生までの次代を担う人づくりについて、多彩な企画を通じてリーダーシップを身につけてもらいつつ自主性と山田に対する愛着を深めてもらえるよう取り組む。

また、協議会の主催する「ふれあいイベント」を様々な地域の方の協力をえながら、地域の特色である食や農をテーマとしたイベントとして展開することで人と人をつなげ、地域の良さを実感できる機会として実施していく。

#### 《組織体制の活性化にむけて》

今まで地域のコミュニティの中心を担ってこられた「町会長会」や「老人クラブ連合会」の解散を受けて、これまで以上にまちづくり協議会の重要性と組織機能の強化の必要性が高まってきたと考えられる。コロナ禍以降社会の在り方・価値観も大きく変わってきた中で、山田を支え守り発展へと結びつけていくための組織体制の強化や見直しを推し進めていく。

以上、4項目を令和7年度の活動の柱として、学区内の様々な力を集結し取り組んでまいります。